東京山手
CHARTERED SEPT. 11, 1953
Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO YAMATE
YAMATE YMCA, 2-18-12, NISHIWASEDA, SHINJUKU-KU, TOKYO TEL. 03-3202-0321 FAX 03-3202-0329
〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-18-12 山手YMCA内

2015
6
Bulletin

2014 - 15 会長主題

# 一人ひとりが賜物。共に感謝し共に喜ぼう

| | | |
|---|---|---|
| あずさ部長 | 望月　勉　（富士五湖） | 「 スピードをもって前に進もう 」 |
| 東日本区理事 | 田中　博之　（東京 ） | 「 誇りと喜びを持って 」 |
| アジア地域会長 | 岡野泰和（大阪土佐堀） | “ Start Future Now ”「 未来を始めよう、今すぐに 」 |
| 国 際 会 長 | Isaac Palathinkal （インド ） | “ Talk less, Do more ”「 言葉より行動を 」 |

会長　浅羽俊一郎／　副会長　上妻英夫　／　書記　鈴木田通夫　／　会計　尾内昌吉・金本伸二郎
直前会長　増野　肇　／　ブリテン　功能文夫　／　担当主事　沖　利柯

**2015 年　6 月例会**

＜評価の月＞

と　き　6 月 16 日（火）18:30～20：30
ところ　山手センター　101 号室

| | |
|---|---|
| 受付 | 飯野毅与志さん・尾内規子さん |
| 司会 | 鈴木田通夫さん |
| 開会点鐘 | 会　長 |
| モットー・ワイズソング | 一　同 |
| 聖書朗読・祈祷 | 司会者 |
| ゲスト・ビジター紹介 | 会　長 |
| 会　食 | 一　同 |
| ハッピーバースデー | |
| 楽しい歌 | 鈴木田祐子さん |
| **話し合い「新年度に向かって」** | |
| ニコニコ | 一　同 |
| 山手Ｙの小窓から | 担当主事 |
| 報　告 | 担当主事、会長 |
| 閉会点鐘 | 会　長 |

当番（第２班）中村 、尾内(規)、鈴木田、飯野

**ワイズメンズクラブ　モットー**

『 強い義務感をもとう
義務はすべての権利に伴う 』
“ To acknowledge the duty
that accompanies every right ”

**今月の聖句**

見よ、わたしはあなた共にいる。あなたがどこへ行っても、わたしはあなたを守り、必ずこの土地に連れ帰る。わたしは、あなたに約束したことを果たすまでは決して見捨てない。

創世記 28 章 15 節

**６月　ＨＡＰＰＹ　ＢＩＲＴＨＤＡＹ**

田尻須賀子さん　５日　上妻清子さん　８日
尾内昌吉さん　14 日

会費の納入は、会計（尾内君）への納入または下記銀行口座への振込みをお願いします。
**三菱東京UFJ銀行　高田馬場駅前支店**
**普通　3548431「東京山手ワイズメンズクラブ」**

**５月報告**

| | | |
|---|---|---|
| 会員在籍数 | | 19 名 |
| 例会出席者 | メ　ン | 14 名 |
| | メネット | ー名 |
| ゲスト・ビジター | | 2 名 |
| | 会員出席率 | 74　% |
| ニコニコ | 6,910 円 | （累計 78,272 円） |

ＢＦ切手　2.0kg　外国切手　0.05 kg

## 5月例会 報告

日時：5月19日（火）18時30分-20時30分
場所：山手センター　101号室
出席者（敬称略）：
メンバー：浅羽、上妻、飯島(隆)、飯野、尾内(昌)、
　　尾内（規）、沖、金本、功能、鈴木田（通）、
　　鈴木田（祐）、戸坂、中村、増野　14名
ゲスト・ビジター
　小畑貴裕さん（東京YMCA国際ホテル学校校）
　吉田明弘さん（東京西クラブ）
司会：上妻英夫

ホテル学校が創立80周年だというので、ホテル学校校長の小畑さんから卓話を伺いました。

小畑さんは1966年生れ、49歳、甲府出身。甲府クラブの大沢英二さん（山梨YMCA名誉主事）は親戚とのこと。1988年ホテル学校卒業後アメリカでホテルの勉強をし、帰国してホテル専門誌のライターに、1990年、ホテル学校の遠矢良夫さんと小林道彦校長に誘われてホテル学校の主事になり、以後、ホテル学校一筋とのことです。

5月のハッピーバースデーは鈴木田通夫さん、81歳、ワイズ歴は堂々53年目、ワイズのおかげで健康だが、腰を痛めていてメネットから尾内さんを見習いなさいといわれているとのお話でした。

楽しい歌は鈴木田祐子さん選の「茶摘み」（夏も近づく八十八夜）とズンゴロ節を歌いました。

さて、小畑さんの卓話です。「**東京YMCA国際ホテル専門学校の歴史とホテル業界の歩み**」という4ページの資料を配付して話されました。

＜**卓話要旨**＞

1863年（文久3年）イギリス人がクラブ組織のホテル「横浜クラブ」を建て、1867年（慶応3年）に日本人が建てた最初のホテル「築地ホテル館」（外国人専用）ができた。

1871年（明治4年）に「精養軒」「兵庫ホテル」が開業、1878年（明治11年）我が国における本格的リゾートホテルの第1号「富士屋ホテル」が外国人専用として開業した。帝国ホテルは1890年（明治23年）に開業した。

**東京基督教青年会**（1880年に結成）が**国際ホテル学校**を作ったのは**1935年**（昭和10年）、**日本最初のホテル学校**であり、1940年(昭和15年)の東京オリンピック（戦争のため中止）に向けて設立された。初代校長の菅(すが)儀一(1889～1952)は24歳でカナダに渡りシカゴ日本人YMCA（ホテルが有名だった）で働いた経験があった。その「設立趣意書」の中に、本校の使命は営業のために資する人士を養うだけでなく、奉仕の精神と高尚な人格と、進んでは国際親善と日本文化紹介のために一隅の礎たらんとする堅実・活発な男女諸氏の誕生をみることで、それが願いであり祈りである旨が記されている。現在もそのまま通用するおもてなしの精神である。修業年限は1年で最初の入学者は124名あったが、戦時体制のなかで入学者が減り、1942年に休校、1943年には閉校した。

そして**戦後、1946年再開**し73名が入学した。ホテルも1947年ホテルテート(現パレスホテル)、翌年に芝パークホテル、53年に山の上ホテル、60年代に入ると**東京オリンピック**（64年）に向けて銀座東急、パレスホテル、ホテルオークラ、東京ヒルトン（外資系）、東京プリンス、ホテルニューオータニが次々に開業した。

1970年、ホテル学校の入学者は225名になった。71年に京王プラザ、ホテルパシフィック東京が開業した。**73年**に山手ブランチ新館が完成しホテル学校は**神田の東京YMCA本館から山手に移転**した。

東京ディズニーランド開業の1980年にセンチュリーファイアットが開業、以後80年代に、赤坂プリンス、ヒルトン東京、東京全日空ホテル、第一ホテル東京ベイ、シェラトン東京ベイ、ヒルトン東京ベイ、ロイヤルパークホテルが開業した。1985年の入学者は167名だったが、1988年の入学者は320名に倍増、バブル崩壊の**1990年**には**入学者456名の最高**を記録した。同年9月、ホテル学校はインド大使館邸の隣に新築された堀記念ビルに移転、**91年**の**在校生総数**は**831名の最大**になった。90年代にはフォーシーズンズホテル椿山荘東京、ウエスチンホテル、パークファイアットホテル、ホテル日航東京が開業した。

2000年には入学者は292名に減り、東日本大震災の2011年には84名にまで減少したが、**2015年**には**159名が入学、在校生総数307名で満杯**の状態にある。2000年以降、東京ドームホテル、グランドファイアット東京、マンダリンオリエンタル東京、ペニンシュラ東京、シャングリ・ラ東京、パレスホテル東京、東京ステーションホテル、

ロールバックマラリア
ROLL BACK MALARIA

アンダース東京、アマン東京、が開業した。2019年にはホテルオークラ東京がリニューアルオープン予定で、2020年の東京オリンピックに向けてホテル業界は活況を呈している。

ホテル学校の**スクールモットー**は「**努めて旅人をもてなしなさい**」（ローマ人への手紙12：13）で、日本初のホテルマン育成の場として、これまでに１万１千人を超える卒業生をホテル、旅館、レストラン等のホスピタリティ産業に送り出してきた。日本観光産業を「人」の面からサポートしてきた実績は業界にも非常に認知度が高く、総支配人も多数卒業生からうまれた。しかし今の学校の目的は、現場人材の育成にあり、マネージメントの人材育成ではない。　　（まとめ：功能）

## ヨルダン会　報告

日時：5月27日（水）13：00－15：00
場所：山手センター　105号室
出席：浅羽、尾内（昌）、沖、鈴木田、中村、増野　6名

国際ホテル学校の拡張に伴い、会議室の確保が危ぶまれたが、時間を30分早めて開催できた。ホテル学校に多くの学生が集まるのは喜ばしい。

議題：

１．７月あずさ部会の準備

部長の方からプログラムがまだ届かないので、準備もあり会長が部長に催促する。目白聖公会への正式な会場申込みも近いうちに行う。

２．ブリテンの扱いかた

多くのクラブがブリテンを電子化している現状にあり、ブリテンをどのように活かすべきか議論があった。ヨルダン会では会長からこの問題をあずさ部に議案として発案してはどうか、との提案があった。クラブによってもメンバー個々人によってもさまざまな意見がある上、区の規約に関わるテーマなので事前調査の必要がある。

３．ユースをYMCAに惹きつける件

（会長）先週末のオープン・フォーラム・Yの参加学生たちの身近にいる学生の大半は内向きで、女子学生は無難な生活をと思っており、若者に行動を促す情報に接すると、行動できない自分にかえって自信を失っているようだ。（沖館長）実践女子大付属高校（渋谷）の女子高校生が山手センターでこれから活動を始めようと準備している。

４．東京YMCA芸術祭の当番

当クラブの当番日は6月25日（木）1時－４時。中村と浅羽が担当する。過去２回の芸術祭で当クラブは茶菓代１万円を寄付していたが、今回は見合わせる。また、会長から会員増強の観点から今後はワイズメンだけでなく、一般会員、特に新入会員に当番を呼びかけてもらいたい、との要望が会員運営委員の中村メンに出された。

５.諏訪町町会との関係作り

山手センターの地元、諏訪町の本田町会長との関係を築いていくため、秋には町会長に例会での卓話を依頼する方向で検討する。

６.会計

今年度支出科目に「山手学舎災害支援」があり、15万円計上されているが、次年度は「災害」を外して「山手学舎支援」として残すことにした。

## 奈良信さんを囲む　お茶の会

5月19日、例会の前、3時から5時まで、奈良信さんを囲むお茶の会が都営大江戸線新江古田駅に近いロイヤルホスト江古田店で開かれました。

奈良さんは92歳の高齢で夜の例会等の出席が困難になられました。そこで奈良さんを囲んで懇談のひと時を持ちたいと、奈良さんのお家に近いこの店を選んだのでした。浅羽、青鹿、上妻、尾内、尾内（規）、功能、鈴木田、中村、増野が参集、さらに目黒クラブの福島正ワイズ、多恵子メネットがご参加くださり、奈良さんを囲んで肩のこらない楽しいおしゃべりのひと時を過ごしました。

(F.K)

## お　た　よ　り(5月)

＜**青鹿博明さん**＞　切手情報を仕入れにフクオさんのお店に行ったら、ヨーロッパの切手市への参加でお休み。帰国後のお話も楽しみ。

＜**上妻英夫さん**＞　「春の日や雀寄り添う里の枝」　暖かい日差しに丁度2羽の雀が枝先に丸く寄り添っており、何か話でもしている様でした。ご想像下さい。

＜**飯野毅与志さん**＞　東日本区大会、京都でのアジア地域大会を楽しみにしています。

＜**田尻忠邦さん**＞　4月に肺炎を患い入院加療をしていましたが、肺気胸を起こしてしまい、4月30日に胸腔鏡手術を受けて、経過観察のため入院が長引いています。今週末には退院予定ですが、退院後はしばらくの間、自宅療養をしなければなりませんので、申し訳ありませんが5月例会は欠席させていただきます。

＜**福村佐和子さん**＞　ご無沙汰致しております。

＜**浅羽俊一郎さん**＞　5月20日、例会の翌朝、母が98才で天に召されました。そばで看取ることが出来ました。26日、無事、浦和教会で葬儀も終えました。皆様との交わりに支えられていること、感謝しております。

6月ブリテンの「今月の聖句」について：私が途上国勤務となった時、母がくれた聖書の表紙の内側に母はこの聖句を書いていました。母自身、おそらく若い時分多くの青年が戦地にやられ、また、自分も外交官の妻としてパラグアイやタンザニアに赴くことになったとき、この言葉に慰められたのかも知れませんね。

## ＹＭＣＡニュース

**▼第18回会員大会報告**

5月23日（土）東陽町センターにて「第18回会員大会」が無事終了しました。各種報告の他、Volunteer of the year（石巻で実施されている歌の会、山手、東陽町、南各センターの各グループ）の表彰や、ユースボランティアリーダーの表彰、委嘱、卒業リーダー感謝などが行われました。

また任期満了となる会員部運営委員の方のお働きに感謝すると共に、新しい運営委員の方々の推挙もされました。今後理事会の承認を経て正式に委嘱の予定です。

**▼第680回　東京YMCA午餐会**

**駿河敬次郎医師**は、小児外科治療の世界的権威として、90歳を過ぎて今なお臨床の場に立ち、絶大な信頼を得ています。ふるさと石川県金沢市での幼少時代、教会日曜学校での良き師と聖書との出会い、そして東大学生YMCAとのかかわり。駿河医師の医療への信念と、そのベースを作った心のふるさとについてお話しいただきます

テーマ：**私のふるさと、YMCAそして小児外科**
と　き：2015年6月19日（金）12：00～13：30
ところ：東京大学ＹＭＣＡ
（東京メトロ南北線「東大前駅」徒歩0分
参加費：3,000円（食事なし1,500円）
申　込：6月16日（火）までに賛助会事務局まで　03-3615-5568

**▼サマープログラム受付開始**

今年もサマープログラムの受付を開始します。山手コミュニティーセンターの受付は下記のとおりで、いずれも電話受付のみ、10時より開始となります。お知り合いなどに広くお知らせください。

*会員とは東京ＹＭＣＡ会員及びその家族（二親等内）で2015年年間プログラム参加者の方となります。

◎サマーキャンプ
会員：6月2日（火）　一般：6月4日（木）
◎サマースクール
会員：6月9日（火）　一般：6月11日（木）
◎短期水泳・体操教室
会員：6月16日（火）　一般：6月18日（木）

（沖　利柯）

## 甲府クラブ 65 周年記念例会　盛会裡に

上妻　英夫

５月９日　（土）評議会後に同会場で 16：00 に開会されました。出席者　尾内昌吉、上妻英夫。

開会に先だって記念撮影、これは良く考えられました。それにしても、同会場を評議会開催中カーテンで仕切っての会場準備全く気づかず、これも甲府クラブの気配りかと思いました。

荒川会長の開会挨拶では、65 周年記念例会を開催できた事は創設当時の先輩、歴代の会長始め諸兄のたゆまざるご努力と行動の賜物によるものであるとされ、特に 65 年前クラブ設立に当たりご自宅を開放して何回も準備会を開かれた故市川規一氏のご努力をご披露されました。そして種々模索した結果、昭和 25 年、東京クラブのスポンサ―による甲府クラブが誕生した次第とのことです。また甲府クラブは４クラブをスポンサーしたことを上げられました（松本・甲府２１・富士五湖・長野）。そして、次期東日本区理事に渡辺隆兄が選出されましたのもひとえに歴代諸先輩の賜物と述べられました。

記念講演には永年に亘り山梨ＹＭＣＡ総主事（現名誉主事・その他）として貢献された大澤英二兄がご登壇され、甲府クラブの設立当時のご苦労された経過を資料に基づいて話されました。　特に東京ＹＭＣＡ総主事木本茂三郎兄のクラブ設立のためしばしば甲府を訪ねられた事など大変興味あるお話でした。当時は新クラブづくりに総主事さん迄が行動された事は今では考えられない事で、時代かなと思いました。当時からの会員で懐かしい輿水正信兄のキャリアに驚きました。

祝会で DBC 和歌山クラブ神谷尚孝兄は DBC 交流成果とクラブ発展への期待、元国際会長藤井寛敏兄の祝辞では、東日本区で最大クラブである甲府クラブに大いに期待したい、特に才知に満ちた次期理事渡辺隆兄のホームクラブとして東日本区を強力にリードして頂きたいと激励されました。

食事歓談ではわがテーブルには二子石宣秀兄のテーブルサービス良く和やかの中に時間の過ぎるのも忘れ、特に甲州本場のワインの旨さに舌ずつみし楽しい話題に事欠く無く、最高のオモテナシを頂いた次第です。もう少しでクラブ紹介を聞き逃すところでした。永年継続会員紹介には、64 年の布能寿英兄、62 年の平原貞美兄、55 年の大澤英二兄、47 年から 21 年迄 13 名の方々の表彰に満場の拍手が送られました。

田中実行委員長は閉会の挨拶で、我々歴史の中にいるのであるから他クラブの模範とならなければならない、「喜ぶ者と共に喜び、泣く者と共に泣きなさい」、甲府クラブ会員としても強く、永く進もうではありませんか、と結ばれました。

甲府クラブは 65 年間、現会員が 30 名を切った事が無いとの事、現在も 40 名の会員が各分野で強力に活動しておられる。荒川軍団の秘訣は何処にあるのでしょうか。今回の甲府クラブの記念例会は前回にもまさる和やかで楽しい会合でした。　有難うございました。

「さつき雲 甲府ロクゴの　晴れすがた」

↑　あずさ部評議会にて

↓　甲府クラブ 65 周年記念例会